

マナランチに感謝

1年 ○○ ○○ 君のお母様より

息子はこれまで6年間、毎日ほとんど同じものしか食べませんでした。卵焼き、トマト、納豆、白飯。気が向いた時に唐揚げなど。北海道に帰省しても、息子が食べる物はいつもこれだけでした。お友達の家でケーキやプリンなど、おいしそうなデザートを頂いても、全く食べず…。1歳の時に区役所で栄養士さんに相談したところ「卵焼きとトマトと納豆を食べるなら栄養は摂れているので大丈夫。2歳になったら食べますよ。」と言われましたが、2歳になっても相変わらずでした。再び相談に伺った所「3歳になればきっと食べるようになりますよ。」とのことでした。ところが、3歳になっても変わらず、4歳になっても、5歳・6歳になっても変わりませんでした。

栄養士さんのおっしゃる通り、栄養が足りていればいいのではないかと、半分諦めの境地でしたが、そのうちいつか何でも食べられるようになる日が来るだろうと、ポジティブに考えることにしました。

7歳になり、関東学院六浦小学校に入学させて頂き、マナランチにするかお弁当にするか悩みましたが、お友達と一緒になら、他の物も食べられるかもしれないと思い、週3回マナランチにしました。

初めて目にするものもあったようですが、毎日少しずつ色々なおかずにはチャレンジしていました。食べることはできなくても、口に入れてみるだけでも息子にとっては大きな進歩なので、「今日もよく頑張ったね。」と毎日褒めるようにしていました。すると、マナランチを食べ始めて1ヶ月後「今日、マナランチ、完食したよ！」との嬉しい報告が。完食など遠い未来の事だと思っていたので、本当に嬉しく、涙があふれてしまいました。なぜ、完食できたのか息子に聞いたところ、「完食すると、先生からシールを頂けて、写真を撮ってヨナだよりに載せて頂けるから。」だそうです。息子はマナランチを完食して、お友達と一緒に写真を撮ることをとても楽しみにしていたようで、それが息子にとって一つの大きな目標だったようです。それからは毎日完食するようになり、「今日もマナランチおいしかったよ！」「今日は、梅干しが食べられたよ！」「黒くて固いものがあったけれど（ひじきのことだったようです）、全部食べられたよ。」と、いつも嬉しそうに報告してくれるようになりました。

いつも夕食は、息子の分だけ別に作っていたのですが、マナランチのお陰で、野菜も魚も食べられるようになりました。家族みんなで同じ夕飯が食べられるということが、こんなにも幸せな事なのだと改めて実感させて頂き、感謝と喜びでいっぱいです。

息子をこんなにも変えてくれたマナランチとはどのようなものかを知りたく、先日行われた来年度入学希望者の為のマナランチ試食会に主人と二人で参加させて頂きました。

子供が苦手そうな人参等は、特に細かくカットされていて、色々な種類を少しずつ食べられるように少量ずつ入っていました。濃すぎず、ちょうど良い味付けで、彩りも良く、好き嫌いのある子どもも「このぐらいなら食べられるかな。」「この小さい人参なら1つだけ頑張って食べてみようかな。」と思えるような、工夫を凝らしたお弁当でした。息子が毎日おいしいと言い、マナランチをとても楽しみにしている気持ちがよくわかりました。

いつも、子供達が食べやすく工夫して調理をして下さっているマナランチのスタッフの皆様。先生、お友達に心より感謝致します。マナランチにして本当に良かったです。

こうして今までできなかったことが、小学生になってから急にできるようになり、日々子供の成長を感じております。これからも色々な食べ物に挑戦できればと思っておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。